

いまみ 録のたより

みんなが かがやく イマミっ子 ~明るく かしこく たくましく~

<ホームページ> <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/imajukuminami> 令和6年1月30日



大切にしたいこと

副校長 足立 真弓

1月13日(土)に、今宿地区のどんど焼きに行ってきました。先端にお餅がついた長い笹をもち、老若男女を問わず、会場の真ん中で炊き上がる炎を囲んでいるその光景は、とても微笑ましくもあり、心が温かくなりました。

情報化社会に生きる私たちの、人とのつながりは多様化しています。デジタルツールを使って、SNSやメール、チャット、オンライン等を通じて、時間や場所を問わずに誰とでも繋がることができます。人間関係の幅が広がり、様々な人々と交流する機会が、昔と比べて、はるかに増えました。しかし、表面的なやり取りが多くなり、人間関係における深さや濃密さといった点は、希薄になりがちです。また、デジタルツールによるコミュニケーションでは、自分の好きな人や情報のみを選択することが可能であり、自分自身にとっては、ある意味心地よく、楽しい時間を過ごすことができますが、これは、自分にとって都合のよい考えや偏った価値観を広げていくだけで、異なった考えや他の視点に触れることが少なくなる危険性もあります。

地域行事への参加は、地域の文化や伝統を体験することができるだけでなく、地域に対する理解や愛着を育むことができます。同じまちに暮らす者どうしが、顔と顔を突き合わせ、挨拶やちょっとした何気ない会話を交わす、コミュニケーションの場となり、互いの理解や信頼関係、地域社会とのつながりを深めることとなります。

新年早々に起きた能登半島地震やこれまでの大きな震災の報道にふれる度、心に刻まれるのは、人と人との絆、結び付きの強さです。どんなに便利な社会になったとしても、最後に人が心のよりどころとするのは、やはり人ではないでしょうか。その一つの方法として、地域とつながりをもつことができる場、互いに顔の見える関係性を築いていくことができる機会として、地域行事などに参加することを大切に、子どもたちが成長して、地域社会に貢献できることにつながってほしいと思います。

【大谷翔平選手からのグローブが届きました】

1月25日(木)に、全国の小学校に寄付されるという大谷翔平選手からのメッセージ付きのグローブが届きました。校長先生が子どもたちに紹介すると同時に、大きな歓声が沸き起こりました。

【連絡ツール『すぐーる』の導入について】

学校との連絡に使用する新たな連絡ツール「すぐーる」への登録についてのご案内を、2月中旬以降にお知らせします。

キラキラタイム 1月15日(月)、17日(水)、23日(火)、26日(金)

1月15日から4回に分けて短縄集会を行いました。体力向上のために取り組んできた縄跳びですが、休み時間に多くの子どもたちが寒さに負けず練習に励んでいました。短い活動時間ではありましたが、活動後にも残って中休みに短縄の練習をする子どもの姿や、集会ではない日にも短縄を持ち出して技の練習に取り組む子どもの姿が増えました。まだまだ寒さは続きますが、継続して縄跳びに取り組み、体力向上を目指していきたいと思いません。

YOASOBI の「群青」
の曲に合わせて楽しく
体を動かしました。

芸術鑑賞会 ~みんなのしるしによる「いのちのてんでんこ」~ 1月25日(水)

1月25日(木)に本校で3年~6年生を対象による芸術鑑賞会を行いました。これは、子どもたちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、豊かな創造力・想像力や思考力、コミュニケーション能力などを養うことを目的として、文化庁が「学校巡回公演」として行っている事業です。

内容は、「東日本大震災が起こり、窓の外に広がる光景に絶句した若者が、避難所で地域の人と生活をする中で、自分の力のなさに落ち込んだり、悩んだりした。だが、目にうつる人々のいとおしいつながりに、この土地にしかない歌をうたい、踊りをおどることで、再びみんなの前ですすもうとする姿に心を動かされた。そして、この極限状態のなか、若者の命は輝き、やがて被災地の太陽となる」といった話です。

3年生の児童も12月のワークショップを受けて、劇の中の一部に出演者として参加しました。

防災という観点からも勉強になり、たいへん心に響く鑑賞会になりました。

タウンニュースにも掲載予定です。

給食週間 1月24日(水)~30日(火)

1月24日から30日までの一週間は全国給食週間です。学校給食は明治22年に始まり、各地に広がっていましたが、戦争の影響などによって一時期中断されました。昭和21年米国LARA(ラ・ラ)から給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年から学校給食が再開されました。これにちなんで、学校給食週間が定められました。

本校では、給食週間の取組として、日頃おいしい給食を作ってくださっている学校栄養士の北脇先生、調理員の方への感謝を、模造紙に書いて伝えました。調理に携わる人の思いを受け止め、毎日の給食を味わってほしいと思います。

食べ物を大事にし、食料の生産等にかかわる人々に対する感謝する心をもって、給食を食べてほしいと思います。

苦手な物もあると思いますが、いろいろな食材を食べてみましょう。新しい発見があるかもしれませんよ。

学校栄養士 北脇先生

給食室 給食調理員さん

委員会活動 その②

5・6年生の委員会活動の様子をご紹介します。

放送委員会

放送委員会では、主にお昼の放送に取り組んでいます。お昼の放送では、聞き手を意識した分かりやすい内容になるように気を付けています。また、「ああ、今日はこういう日なんだな」や「このクイズ面白いな」と思ってもらえるように、原稿作りを協力して行っています。音楽をかける際にも同じ曲を流すことがないように考えて放送しています。私たちは、皆さんが聞いて、もっと楽しんでもらえるような放送をしていきたいなと心がけています。

放送委員会委員長

飼育・栽培委員会

飼育・栽培委員会では、主にウサギの世話や植物の水やりをしています。委員会のみんなは、ウサギのために楽しく世話をしています。もっとウサギについてたくさん知ってもらうためにクイズを出したり、ふれあい週間を予定したりしています。命を預かる責任をしっかりと、委員会のみんなで協力して大切にしていきたいです。

これから、クイズやふれあい週間を通して今宿南小のみんなにもっと動物や植物のことを知って好きになってもらえるように頑張ります。生き物とふれあう機会を楽しみにしてほしいです。

飼育・栽培委員会委員長

給食委員会

給食委員会では「みんなに楽しく給食の時間を過ごしてもらおう」ということを意識して活動しています。特に頑張っているのは、給食室での手伝いです。調理員さんの作ってくれた給食を当番の人に渡すことや給食後の片付けがスムーズに進むように食器や食缶などの受け取りを進んで行っています。また今年度は食事のマナーを守ってもらうために給食ビンゴの取組をしました。

これからも全校のみんなが楽しく給食の時間を過ごせるように活動していきたいです。

給食委員会委員長

集会委員会

集会委員会では、みんなが笑顔でたくさん交流ができるように、目的に合った、楽しいゲームを選んでいきます。全校集会もできるようになったので、けがのないような安全なゲームを選ぶことも心がけていきます。また、全学年のみんなが楽しく取り組めるようにルール工夫もしています。

「あのゲーム、楽しかったな」と思ってくれたらうれしいです。これからも、交流したことのなかった人たちとも仲良くできるような集会を考えていきたいです。

集会委員会委員長